第24回登校拒否・不登校問題

全国のつどいin長崎

分科会案内

（分科会・基礎講座・ひろば・おやすみ処）

２０１９年8月31日（土）～９月１日（日）

参加者の皆様へ

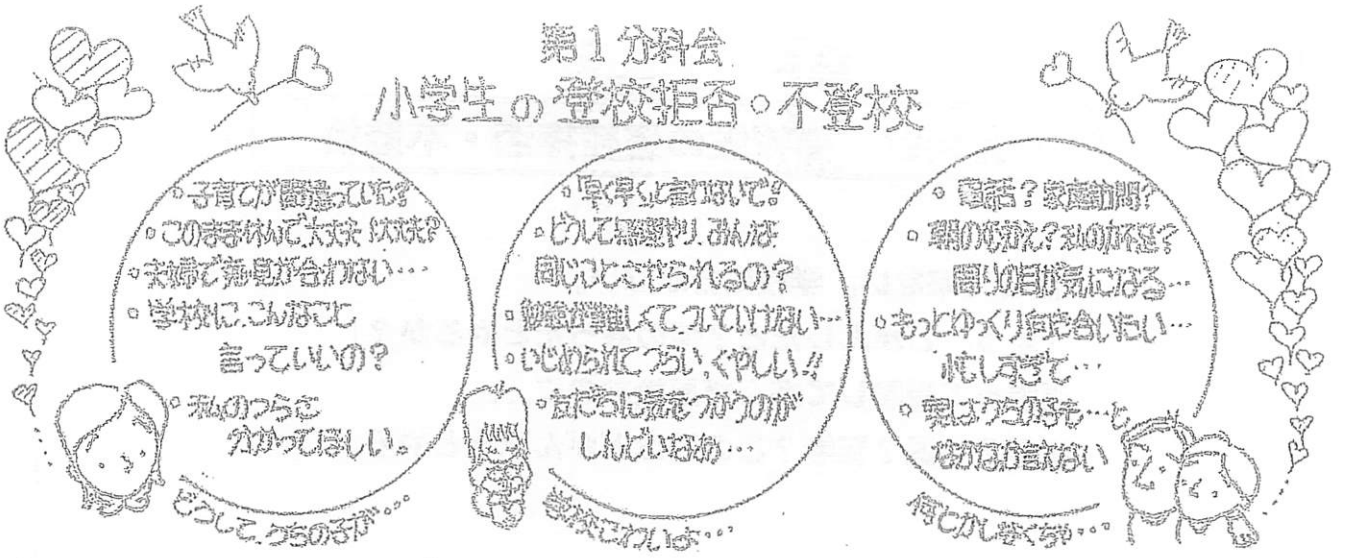
この冊子は、「基礎講座、分科会、ひろば、おやすみ処」に関わる世話人たちが、それぞれの会をどのようにするか話し合いを重ねまとめたものです。
お読みになって、あなたに合うところをお選びください。

どこが合うのかお迷いの方もたくさんおられることでしょう。
以前からの参加者に「迷った？」と聞いてみると、「悩みがたくさんあって決められなかった」「とりあえず一番悩んでいるところへ行った」「悩んでいるうちに少し心が整理された」「裏方のお手伝いをしてすごす中でいやされた」など、いろんな声が聞けました。

このつどいは、「語りあおう学びあおう、子どもたちをまんなかに」というテーマをかかげています。
世話人たちは同じ立場の親であり、この問題に心を寄せる教員や研究者たちです。特に分科会では参加者が安心して胸の内を語りあえるように、それをお互いに聞きあえるように、そして、一人ひとりが気づき、学んだものを持ち帰ることを大事にしようと申し合わせています。
たくさんの分科会がありますが、何かを研究したり、決定したりするために集まるのではありませんので、共同研究者も助言者も置いていません。
話さず聞くだけでもかまいませんし、要項に「出入り自由です」と書いた通り、自分に合う分科会を求めて他へ移ってもかまいません。
どの分科会でも、お互いの良い交流ができますようにと願っています。

ご質問やご相談がありましたら、相談窓口においでください。（受付の横）
また、水色のリボンをつけたスタッフにお気軽に声をかけてください。

第1分科会
小学生の登校拒否・不登校



うれしさいっぱいの笑顔で入学、入園した我が子。でも、日がたつにつれて…「学校に行きたくない」と言うの…。どうして？ 学校では保健室にいる事が多いって…なぜ？
朝起きると頭が痛いと、休ませても家では元気…。これって怠け？ 休ませてもいいの？
わが子の様子がへ配…。そんな悩みや不安をかかえている親子は少くありません。
子どもの心の中には、何があるのでしょう。学校はどうなっているのでしょう。
"黙って聞くだけ" でも "思いっきり話したい" どちらでもOK！
子どもの心の中が、少へし見えてくるかも…。自分の心が少へし見えてくるかも…。

第2分科会　中学生の登校拒否・不登校

分科会では、参加する方々がそれぞれの思いを語り合い　悩みを共有しましょう。
黙って聞くだけでもいいです。
少しでも肩の荷を下ろして、ほっこりした気持ちになれる場にしたいと思います。

第３分科会　高校生の登校拒否・不登校

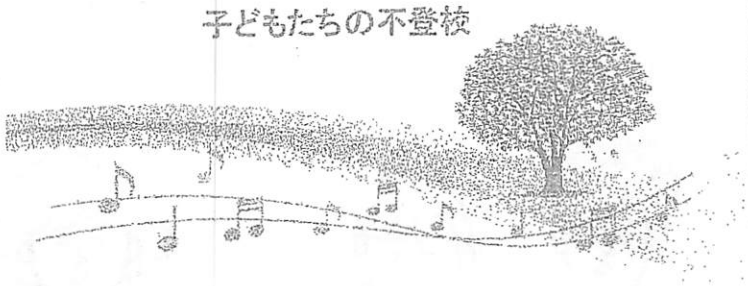
起きて来ない。学校に行かない。
「えっ、どがんしたと？何のあったとやろか？」
頑張って受験して進んだ高校なのに...
留年？中退？転学？この子はどがんなっとやろ。

今の子どもの状態をどう理解し、どう向き合っていけばいいのでしょうか？
同じ悩みを持つ者どうしがゆっくり聞きあい、語り合い、交流し「ほっ」とできたらいいですね。

第4分科会　障がいがある（かもしれない）子どもの登校拒否・不登校

障がいなどのハンデがあることで生きにくさを抱えた
子どもたちの不登校

そんな子どもたちに寄り添ってきた私たち



それぞれの立場から見える子ども達の姿を出し合い、不安な気持ちや困っていることを話し合いましょう。
お父さん、お母さん、カウンセラーさん、養護の先生、担任の先生、おじいちゃん、おばあちゃん、支援の方々、専門家の方々などなど...

ほっと一息ついて、心を軽くしませんか？

第5分科会　　学校とのかかわり・学校づくり

子どもが学校に行けない…。苦しさと不安に押しつぶされそう…。
この想いやつらさを、なかなか学校に分かってもらえない。

お腹が痛い、頭が痛い…。身体の不調は言葉にならないメッセージ。

この中にきっとヒントがあるような気がするのです！

今、学校では、子どもたちも先生たちも追い立てられています。

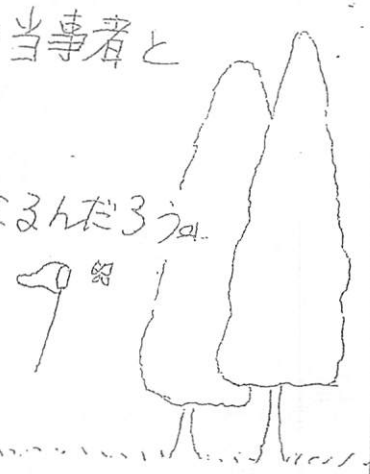
「すべての子どもが人として大切にされる学校」「心に気持ちのよい風が吹く学校」
をめざして、手をつなぎませんか。

親の体験談や教師の取り組み、教育の機会確保法についても交流し合いましょう。

第6分科会「青(成)年期をともに生きる」

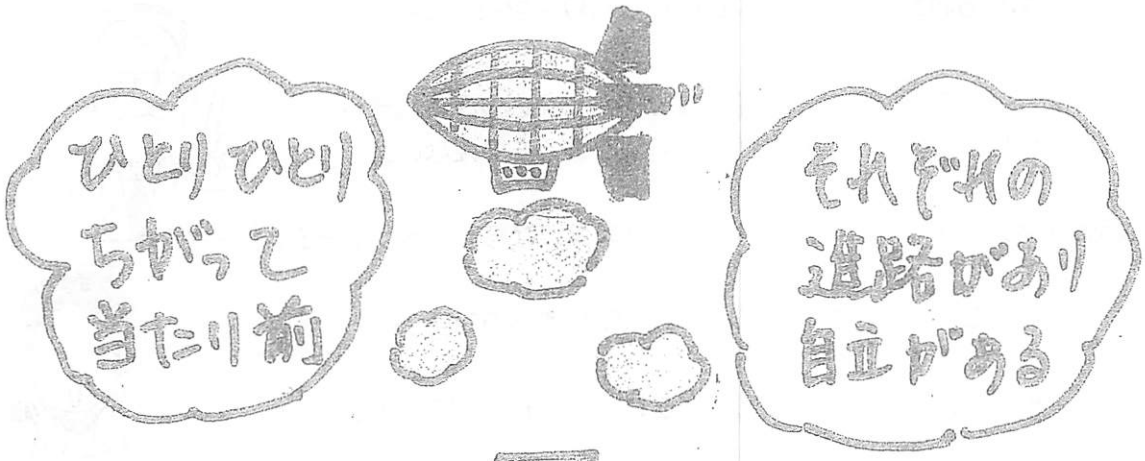
この分科会では、中学卒業後どこにも所属してない人
社会や人とのかかわりに困難を抱えている人
そんな青(成)年たちに寄り添う家族や当事者と
その思いを語り合いましょう。

「ずっとこのままなのだろうか。」「これからどうなるんだろう。」
「どうかかわったらいいんだろう。」



しんどさや不安を出し合ってみませんか。
語ることや聞くことでヒントが
みつけられるといいですね。

第7分科会 さまざまな進路・自立に向かって



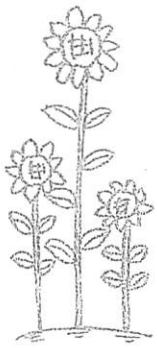
一人一人の気持ちを大切に
たくさん語りつながりましょう

第8分科会

居場所とは A

～ あなたにとって居場所とはなんですか？～

家庭、学校、教育支援センター、フリースペース etc.
ただの Place（場所）ではない Home（心の居場所）が
ある。だれかが居てくれる。そっとしておいてくれる。
子どもが学校に行けなくなった時、子どもや親が心を癒やし、
ありのままの自分でいられる「場」とは？
何を大切にしながら子どもと関わっていけばよいか
皆さんとともに語り合いましょう。



登校拒否、不登校、ひきこもりの体験をした若者が安心してつどえる居場所について話し合います。安心していられる居場所、楽しいことを体験して元気を取り戻す居場所、一人ひとりが豊かに成長できる居場所…… 若者の求める居場所は、いろいろな形や場があるでしょう。行政や民間が開く居場所など、さまざまな居場所があります。そんな居場所や、取り組みを聴き、若者の声を受け止めることができる居場所について、一緒に考えてみましょう。

居場所とはB

第9分科会

親・家族の役割と家庭づくり

子どもが学校に行けなくなったとき、ひきこもり始めたとき、どうしてこうなったのか、どうしたらよいのか、悩み、不安になり、子どもにいら立ちをぶつけてしまう…。解決の道が見えず、親はただ立ち尽くしてしまう。

でも、親だから、できること。親にしかできないことがきっとあります。子どもを理解するために、どんなことをしてる？子どもとのコミュニケーション、どうしてる？いろんな疑問を出し合い、みんなの体験を聞き、親や家族の役割、家族みんなが居心地よく過ごせる家庭づくりを考えましょう。

子どもに寄り添い、支え、ともに歩んでいきましょう。
お母さん、自分を責めないで。
お父さん、子どもとの接し方がきっとみつかります。
おじいちゃん、おばあちゃん、支援のみなさんも
一緒に語り合いましょう。

手をつなぐ輪を広げて

10

第⑩分科会で「親の会」について語り合い者しょう!!

「参加してよかった！」「やっててよかった！」と思える、安心できる「親の会」の維持のために、立場を超えて語り合ってみませんか。

第⑩分科会は、「親の会」に関する悩みや思いを安心して語れる場です。2日目の午前中は、熊本で親の会に関わっている方の経験談を予定しています。

多くの方のご参加、お待ちしています。

11分科会　医療とのかかわり

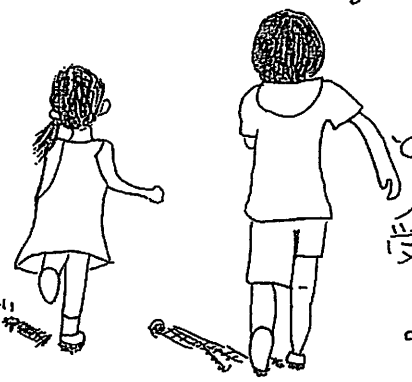
登校拒否・不登校・ひきこもりに悩み、医療とのかかわりを考えている人や、学校から受診を勧められる人が増えています。親としてどう考え、どう受け止めればいいのか、どこに相談したらいいのか等、混乱や不安の中で悩んでいる方がおられるのではないでしょうか。

この分科会では、それぞれの家庭での悩みや医療とつながってからの経験を出し合えたら、と思います。安心して語り合い、交流する中で、ホッとできる時間を過ごしましょう。

第12分科会　登校拒否・不登校と「非行」

荒れている子どもを見て心配と不安でつらくて
どうしたらいいかわからない…。

子どもたちの「非行」
私たちはどう
かかわっていけば



といわれる行動を
受け止めて
よいのでしょう。

安心して思いのたけを話してみませんか？

特設分科会　ひきこもりを語り合う

世間の目
社会の偏見
マスコミの報道

ひきこもりだから見えること、
思うこと、感じること

答えを求めるのではなく、
いろいろな人の経験や話を聞きたい

ひきこもり続けているわが子、
何を思い悩んでいるのかわからなくて
不安がつのります。

どうしたらいいのだろう、
誰に話したらいいのだろう、
そんな気持ちを心ゆくまで語り合いましょう。

常識は非常識だった

生きたいように生きていいんだよ

自由でいいんだよ！

相談したい…でも勇気いると迷っている方、
話を聞きに来ませんか

ともに寄り添い涙を流せる居場所

基礎講座（1）「家庭で」　講師　村上公平さん

（ＮＰＯ教育相談おおさか相談員）

親が適切な対応と援助をすれば
どの子も成長して必ず立ち上がる

わが子が学校や職場へ行けなくなると不安が募ります。そのうえ、期間が長くなれば果たして元気になるのであろうかという心配も加わり、いっそう悩みと焦りが強くなります。

登校拒否（不登校）と社会的ひきこもりの専門の相談員になられて35年になる村上さんは、「登校拒否と社会的ひきこもりの子どもは親が専門家と相談しながら、適切な対応と援助をすれば、どの子も成長して必ず立ち上がる」「鍵となるのは、親の果たす役割にある」と言われています。

では、親は具体的に日々どのように考えて対応と援助をすればよいのでしょうか。わが子の立ち上がりのために、村上さんの講演を聞いて親の果たす役割について深め確かな見通しを持ちましょう。

どうぞ、みなさんご参加下さい。

基礎講座（2）「学校で」

講師　高垣忠一郎さん（立命館大学名誉教授・心理臨床家）

働き方改革が進められている現在ですが、学校の多忙さはなかなか改善されず、先生らの業務はますます増えているようです。そんな学校で子どもたちもまた、息苦しさを抱えて学校生活を送っているのではないでしょうか。不登校（登校拒否）はそんな子どもの限界点なのかもしれません。

講座では、「不登校（登校拒否）をどう理解したらよいのか」
「子どもにどう寄り添い援助していけばよいのか」
「親と教師が子どもの成長・回復にどう力を合わせていけばよいのか」

など、登校拒否の子どもやその親のカウンセリングを続けてきた高垣さんの話から学びましょう。今の学校のあり方など先生方の悩みも出し合えたらと思います。

教師ではないけれど学校のことや先生方の悩みなどいっしょに考えたいという方もぜひご参加ください。

おしゃべりのひろば

おしゃべりのひろばでは、お題をくじ引きで♪
フリートークもあり♪
もちろん聞いているだけでもOKです

ゆったりいこいのひろば

ゆったりのんびり自由に過ごすスペースです
お菓子、飲み物もあります
アットホームな雰囲気でやっています
気軽に来てください♪

（できるだけ当事者以外の方はごえんりょください。スタッフも当事者です）

ゆたっと処（どころ）

ゆっくりしたいな…休憩をとりたいな…
自分の時間を過ごしたいな…

そんなとき、いつでも
気軽に寄ってください